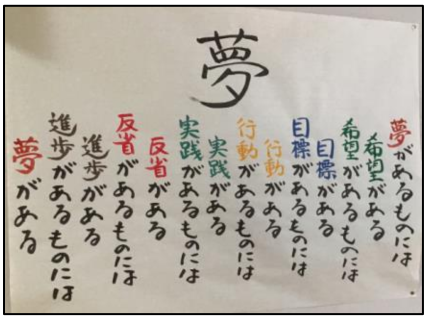
2021「山ちゃん通信」No,64

2021, 7, 7
文責：山香 昭

大分教育事務所訪問　43

大分市立碩田学園から学ぶ



学校経営から学ぶ

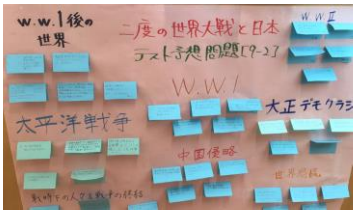
学校の教育目標「夢と希望を持ち、２１世紀を生き抜く児童生徒」を育成するために、小中一貫教育校のメリットを活かしながら、「学校が楽しい」という子ども評価を向上させることを目指し、校長先生をはじめ、副校長、２人の教頭、そして主幹教諭が一体となりながら、各分掌、学年の主任を中心に組織的に取り組まれています。

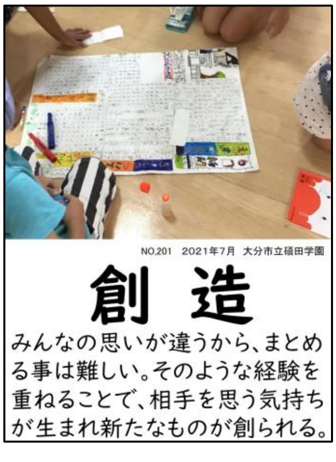
特に、印象的だったのは、児童生徒会の取組が PDCA サイクルに基づいて行われているので、毎月の課題が明確になり焦点化された実践を行っていることでした。進行管理も自治的に行っているので、子ども達の個人の目標にもリンクしていました。

今後は、学校経営計画表にある、それぞれの取組項目が、どの「資質・能力（３本柱）」を育てるのか（目的）を明確にすることで、教職員や保護者・地域の方との共通理解がすすみ、ベクトルが揃いやすくなると思います。そのことで、方法（手段）は担当者に任せることができ、それぞれの当事者意識がより高まると思いました。

授業から学ぶ

特設の３クラスの授業を中心に参観させていただきました。９年生数学の基礎コースの活用問題は身近な課題のため、意欲的に取り組んでいました。また、標準コースは学び合いを取り入れ多くの問題を解かせる等、習熟の程度に応じた効果的な実践が行われていました。全学級の題材も提出して頂きありがとうございました。子ども達の笑顔と学びに向かう姿がとても印象的でした。





今後は、指導案にある「振り返り」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿になったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」とすることで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になります。そのような、日常的な実践を行うことで授業力がより向上すると思いました。